



《特設展示》

谷崎文豪

肉筆に見る



愛用した残月時絵硯箱と筆

文豪は時空を超えて  

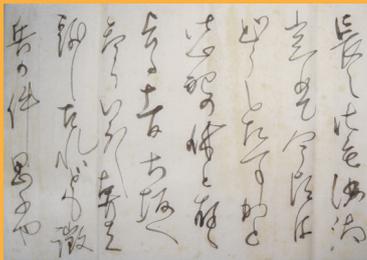
会期：2016年12月17日(土)

~2017年3月20日(月・祝)

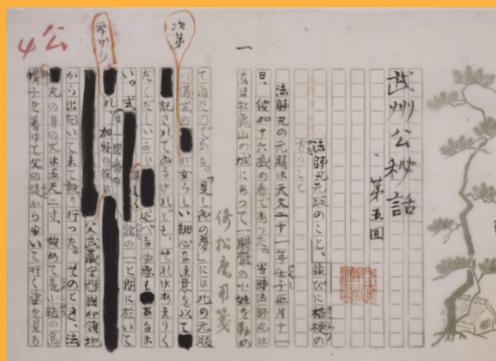
原稿用紙の升目を埋めるきっちりした楷書体、恋文の流麗な筆文字、高血圧で麻痺した右手で書く子どものような大きな字……。谷崎の書く文字は目的により年齢によってさまざまに変化しました。デビュー間もない1912年(大正元年)の書簡や、円熟期の「武州公秘話」直筆原稿、色紙への揮毫など、通常展「谷崎潤一郎 人と作品」の資料と合わせ約100点を公開。文豪の肉筆を通し、その人間像や息遣いにまでもふれていただきます。



松の模様がに入った特製の「倚松庵用箋」に書かれた「武州公秘話」原稿
「武州公秘話」初版本(1935年、中央公論社刊)



1912年(大正元年)、26歳の谷崎が京都の旅館「八千代」に送った自筆の礼状



【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

【休館日】月曜日(祝日は開館し、翌日休館)、12月28日～1月4日

【入場料】一般：300円／大高生：200円／中学生以下無料 ※団体料金(20人以上)は2割引

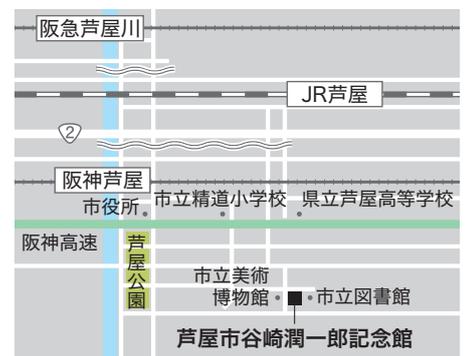
※65歳以上、または身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方、ならびにその介護の方1人は半額

特設展示「肉筆に見る文豪谷崎」 通常展「谷崎潤一郎 人と作品」【後援】読売新聞大阪本社

芦屋市谷崎潤一郎記念館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号 Tel: 0797(23)5852 / Fax: 0797(38)3244
e-mail: ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp ホームページ: <http://www.tanizakikan.com>

◎徒歩：阪神芦屋駅から南東へ15分 ◎バス：阪急芦屋川駅・JR芦屋駅・阪神芦屋駅いずれも「緑町」下車、東へ徒歩1分



駐車場：隣の美術博物館20台、図書館47台